

丑・二〇〇九



文||麻生京子 絵||荒川美和子



明けましておめでとぅございませう

初登場の麻生京子です。

覚えてくださっている方は

いらっしやいますか？

三年ほど前に若松を

寿退社した中山京子です。

隔週の土曜日に復帰する

ことになり半年が経ちました。

院長先生から「出戻りシスターズ」

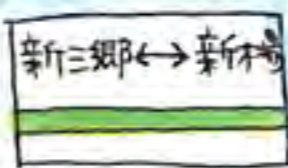
の仲間入りだね」と笑われています

が、若松は、私のように復帰する

スタッフが何人もいます。

結婚・出産・引っ越し

いっほ前へ!!



などで一時的に働けなくなった後に
同じ職場に何人もが戻ってくるのは
全国にも6万ある歯科医院の中をも
非常に少ないと思います。

現在、私は江東区に

住んでいます。

自宅の周辺にも沢山の

歯科医院がありますし

都内で知り合いのドクターの

ところで働いたりもしました。

でも、若松に戻ってきたのです。

若松は、働きやすく

何よりも楽しいのです。

武蔵野線で一時間かけても

やっぱり若松なのです。

今回は、私の2年間の衛生士人生

の中で経験した色々な職場と若松を

比較しながら、なぜ若松なのか？



「若松の魅力は何なのか？」をお話
ししたいと思います。

若松に入るとビクリ

①私は、歯科衛生士の学校を卒業し

てから、約三年間(株)ライオンに

勤務していました。

そうです。皆さんが

ご存知のあのライオンです。

そこでは、企業内健診を

主な仕事として、全国を飛び回ると

てもハードな日々を送っていました。

しかし、企業の歯車として働き続け

ることに限界を感じ、開業医で働い

てみようかと思いはじめたところ、

小島先生に出会いました。

開業医で働いたことが

ない私が、不安そうに



「全然、一般臨床ができない

のですが…」と言った、

先生はニコニコしながら

「むしろ、変なことを覚え

て来られるよりいいよ」と

とOKしてくれたのです。

そして、不安で一杯な第二の歯科

衛生士人生がスタートしたのです。

そんな私が若松歯科で働きはじめて

まず驚いたのは「殺菌・消毒」

についてでした。

大学病院並み…いいえ、

大学病院以上に徹底した

管理体制は、今から

十年以上前の話ですから

考えられないものでした。

器具は、患者さんごとに

毎日換えて殺菌するので

あつ…私…自信が…



とにかくくびつくりする

くらいの量があるのです。

同級生に聞いて比較してみると、

どうやら若松には、一般

開業医の二〜五倍近く

ストックされているのです。

当然、洗い物などの手間は、

増えますが、安全面を考えると

患者さんだけでなく、働いている

私たちにも安心感があるのです。

②「中性殺菌水」にも

衝撃を受けました。

当時、母校の大学病院の

歯周病科で導入のウワサは耳に

していましたが、一般開業医では、

ウン百万円の機械の導入は、聞いた

ことがありませんでした。若松では

診察台(皆さんが座っている椅子)

の中にも通したので、業者の方は

大変だったようです。

この中性殺菌水は、

ご存知の方もいらっしゃるかと

思いますが、B型肝炎やエイズ、

MRSAやO157などの

ウイルスや菌も、数秒で殺菌

でき、しかも耐性菌も作らず、

人体と環境にもやさしい

スケレモノなのです。

ご自宅用にお分けしていますので

2週間連続で使ってみてください。

③8年前に三郷団地からさつき平に

引っ越して来た時も、驚きました。

まるで、カフェを思わせるかの

ような内装に、ホテルの

ようなインテリアですから



2008年は
風邪でサボりました



「こんなところで働ける
なんて幸せ〜と」
クリーニングスタッフが
毎日約3時間徹底的に掃除を
している歯科医院も珍しいの
ですが、皆さんにもきれいに
使っていただいているので、毎日
100人近くが出入りしているとは
思えないくらいきれいですね。



イベント好きの私は、
ハロウィンやクリスマスの
飾りつけも、幸せな
気分になれて、大好きです。
驚くことに、飾りつけは、ほとんど
小島先生がやっている
んです。(片づけは
してくれませんが…)。
ばらしちゃったあ〜



④ 私たちが使うものは、良い
ものと判断すれば、あつと
いう間に買ってくれます。

私が若松に入ったところ、当時は
普及していなかったPMTCの
機械を提案したところ、現在の倍
以上の価格でしたが、
二つ返事で即決でした。

中性殺菌水も最近
バージョンアップしたらしく
本当に、患者さんと私たち
スタッフのためなら先生は、
採算度外視なのです。



また患者さんが、いかに気持ち
よく治療を受けられるかを
いつも考えている
からだと思います。

ここまででは、私が以前に若松で働い
ていたところ感じたことです。

そして、結婚退社をし、
東京に住みはじめて

他の開業医2ヶ所で働いてみると…

「若松ってすごかったんだ〜」
と改めて感じたのです。

出てビックリ

若松よ!!
さまねら!!



⑤ 若松では、3か月ごとにクリーニ
ングをお勧めしていますが、
ほぼ100%保険の範囲の
中で行っています。

このクリーニングは、
医院によって自費で請求され
る可能性のあることをご存知ですか？
つまり、病気なら保険が効きますが、
予防には、原則として保険は利かな



いのです。

私が、都内で務めた

医院では、ほぼ同じ内容で

約三万円の請求が来ますが

若松ではきちんと歯周ポケットを測

り、歯周病の有無を判断してから

クリーニングをしています。

いかがでしょうか？

三万円という金額は、

よほどの大金持ちで

お口に相当関心をお持ちの

方ではないと勤務していた

私も勤める気には

なれませんでしたし、

大部分の方は、継続しませんでした。

都内某所で勤務しながら、「若松の

患者さんは、本当に幸せだな」と

いつも思っていたのです。



◎若松のドクターのほとんどは、

『補綴リホテツ』といって、入れ歯

や冠などのかがせものが専門の医局

で学生や研修医に指導

している先生たちです。

若松に勤務しているときは、

解らなかつたのですが、他院で

勤務してみると歯型や出来上りの

綺麗さや適合は、ピカイチだとい

ことが分かりました。

しかも、大学病院と

同じ手間をかけているのです。

正直、道具が多くておぼえるのが

大変ですが、治療の幅も広がります。

⑦⑧⑨...と上げていくとキリがな

いくらい若松の魅力はありますが、

先生方は、これらをあまり言わない

のも若松の魅力の一つなのです。



小島先生は、よく私たちに

「世の中運と縁だからね、

来てくれた人には、

できる限りのことをする

のが、地域医療だよ」と言います。

先生は、縁結びの神様で有名な

スサノオノミコトから八十八代目らし

い(マジで)のですが、不思議と

いい人が集まってきました。

患者さんも、本当に

気持ちの良い方ばかりで

ついついお話が長く

なってしまう。

こんな環境ですから、出戻リシス

ターズが、若松では増えるのです。

これからも、頑張ってお働きますので

シスターズをよろしくお願いします。

(文リ中山改め麻生京子)

